

# 令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンター	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市 総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立小浜温泉病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

<b>病院事業決算状況(令和3年度)</b>		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	長崎市		
病院名	長崎みなとメディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	409,118	
決算規模(千円)	255,100,662	
標準財政規模(千円)	103,033,192	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	98.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	30,862			
1 経常収益	30,862			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	30,862			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	30,862			
2 経常費用	30,862			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	30,862			
(うち支払利息)	30,862	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	243,223
決算規模(千円)	138,657,544
標準財政規模(千円)	61,784,061
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	90.3
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,722			
1 経常収益	31,722			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	31,722			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	31,722			
2 経常費用	31,722			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	31,722			
(うち支払利息)	31,722	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和3年度)</b>		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 北松中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	243,223
決算規模(千円)	138,657,544
標準財政規模(千円)	61,784,061
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	90.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	4.5
将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,516			
1 経常収益	13,516			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,516			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,516			
2 経常費用	13,516			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,516			
(うち支払利息)	13,516	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	大村市				
病院名	市立大村市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,315 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	212	83.4	81.5	94.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	49.9	37.6	48.3
計	212	83.1	80.6	93.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	20.6	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	95,397	
決算規模(千円)	58,527,441	
標準財政規模(千円)	21,738,578	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	522,092			
1 経常収益	522,092			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	522,092			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	51,049			
(うち長期前受金戻入)	470,042			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	751,124			
2 経常費用	749,442			
(1) 医業費用	698,888			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	692,944	-	9.0	9.9
経費	1,879	-	22.5	28.4
(うち委託料)	18	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	4,065			
(2) 医業外費用	50,554			
(うち支払利息)	50,554	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,682			
損益	-227,350			
純損益	-229,032			
累積欠損金	2,490,501			
経常収支比率	69.7		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	9.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	62.9		93.6	91.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,677,697
1 固定資産	6,637,501
(1) 有形固定資産	6,237,501
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	400,000
2 流動資産	40,196
(1) 現金及び預金	39,941
(2) 未収金及び未収収益	255
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,997,460
1 固定負債	6,064,865
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,664,865
(2) その他の企業債	400,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	493,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	492,743
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,439,555
(1) 長期前受金	5,418,264
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,978,709
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,319,763
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,949,227
(1) 資本剰余金	541,274
(2) 利益剰余金	-2,490,501
負債・資本合計	6,677,697
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,319,763
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	28,566	51,049
資本勘定繰入	281,368	526,478
計	309,934	577,527

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	360,101
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	国民健康保険平戸市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	58	60.5	79.0	88.7
療養	29	83.7	84.1	82.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	68.2	80.7	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	18.3	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	27,859,868	
標準財政規模(千円)	13,584,048	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	84.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,718,526			
1 経常収益	1,713,193			
(1) 医業収益	1,181,868			
(うち修正医業収益)	1,120,402			
入院収益	513,738			
外来収益	379,526			
診療収入計	893,264			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	288,604			
(うち他会計負担金)	61,466			
(2) 医業外収益	531,325			
(うち国・都道府県補助金)	201,304			
(うち他会計補助・負担金)	261,833			
(うち長期前受金戻入)	58,613			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,333			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,544,094			
2 経常費用	1,542,713			
(1) 医業費用	1,474,959			
職員給与費	887,779	75.1	60.2	76.8
材料費	155,711	13.2	25.3	14.4
(うち薬品費)	83,840	7.1	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,871	6.1	11.6	6.0
減価償却費	126,717	10.7	9.0	11.4
経費	302,325	25.6	22.5	31.5
(うち委託料)	170,544	14.4	12.5	14.5
研究研修費	1,787			
資産減耗費	640			
(2) 医業外費用	67,754			
(うち支払利息)	18,988	1.6	1.2	1.4
(3) 特別損失	1,381			
損益	170,480			
純損益	174,432			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.1		105.6	103.4
医業収支比率	80.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	76.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	18.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	90.1		93.6	79.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,929,397
1 固定資産	2,532,126
(1) 有形固定資産	2,527,834
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	2,387
2 流動資産	1,397,271
(1) 現金及び預金	1,117,540
(2) 未収金及び未収収益	266,177
(3) 貸倒引当金( )	5,027
(4) 貯蔵品	18,265
3 繰延資産	-
負債合計	2,329,342
1 固定負債	1,112,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	536,159
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	576,262
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	360,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	188,392
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,948
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,835
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	856,136
(1) 長期前受金	2,038,283
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,182,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,600,055
1 資本金	1,366,060
2 剰余金	233,995
(1) 資本金剰余金	162,362
(2) 利益剰余金	71,633
負債・資本合計	3,929,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	323,299	323,299
資本勘定繰入	130,210	130,210
計	453,509	453,509

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	平戸市立生月病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,066 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	64.1	62.1	73.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	64.1	62.1	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		31.3	29.7	28.7

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	27,859,868	
標準財政規模(千円)	13,584,048	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	84.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	749,416			
1 経常収益	724,208			
(1) 医業収益	534,839			
(うち修正医業収益)	496,514			
入院収益	303,146			
外来収益	141,926			
診療収入計	445,072			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	89,767			
(うち他会計負担金)	38,325			
(2) 医業外収益	189,369			
(うち国・都道府県補助金)	3,185			
(うち他会計補助・負担金)	155,099			
(うち長期前受金戻入)	27,275			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,208			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	697,417			
2 経常費用	694,992			
(1) 医業費用	674,172			
職員給与費	389,464	72.8	60.2	76.8
材料費	56,193	10.5	25.3	14.4
(うち薬品費)	26,076	4.9	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,117	5.6	11.6	6.0
減価償却費	63,025	11.8	9.0	11.4
経費	164,524	30.8	22.5	31.5
(うち委託料)	77,315	14.5	12.5	14.5
研究研修費	170			
資産減耗費	796			
(2) 医業外費用	20,820			
(うち支払利息)	526	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	2,425			
損益	29,216			
純損益	51,999			
累積欠損金	161,281			
経常収支比率	104.2		105.6	103.4
医業収支比率	79.3		85.1	74.3
修正医業収支比率	73.6		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	26.7		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	36.2		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	25.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	76.4		93.6	79.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,929,397
1 固定資産	2,532,126
(1) 有形固定資産	2,527,834
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	2,387
2 流動資産	1,397,271
(1) 現金及び預金	1,117,540
(2) 未収金及び未収収益	266,177
(3) 貸倒引当金( )	5,027
(4) 貯蔵品	18,265
3 繰延資産	-
負債合計	2,329,342
1 固定負債	1,112,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	536,159
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	576,262
(7) 一 負債	-
2 流動負債	360,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	188,392
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,948
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,835
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	856,136
(1) 長期前受金	2,038,283
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,182,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,600,055
1 資本金	1,366,060
2 剰余金	233,995
(1) 資本剰余金	162,362
(2) 利益剰余金	71,633
負債・資本合計	3,929,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	193,424	193,424
資本勘定繰入	31,481	31,481
計	224,905	224,905

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)		
病院名	公立小浜温泉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,798 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	18	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	90	91.4	90.9	90.7
療養	60	90.5	93.7	92.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	91.0	92.0	91.5
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	20.2	20.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	479,118			
1 経常収益	479,118			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	479,118			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	353,755			
(うち長期前受金戻入)	123,958			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	701,554			
2 経常費用	461,458			
(1) 医業費用	426,998			
職員給与費	23,139	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	217,040	-	9.0	10.4
経費	186,819	-	22.5	28.7
(うち委託料)	5,175	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	34,460			
(うち支払利息)	12,181	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	240,096			
損益	17,660			
純損益	-222,436			
累積欠損金	127,223			
経常収支比率	103.8		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	73.8		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	73.8		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	27.2		93.6	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,127,107
1 固定資産	4,826,228
(1) 有形固定資産	4,826,136
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,300,879
(1) 現金及び預金	1,063,520
(2) 未収金及び未収収益	237,359
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,621,133
1 固定負債	2,215,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,215,906
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	475,037
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,823
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,419
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	303,795
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,930,190
(1) 長期前受金	2,259,334
(2) 長期前受金収益化累計額( )	329,144
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,505,974
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,106,293
(1) 資本金剰余金	1,233,516
(2) 利益剰余金	-127,223
負債・資本合計	6,127,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	47,930	353,755
資本勘定繰入	88,843	31,058
計	136,773	384,813

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		五島中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	249	62.9	60.7	69.6
療養	-	-	-	-
結核	10	0.6	3.0	1.2
精神	60	44.9	49.4	48.7
感染症	4	-	-	-
計	323	56.8	56.1	62.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	15.2	15.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,419,561			
1 経常収益	6,402,788			
(1) 医業収益	4,710,097			
(うち修正医業収益)	4,651,056			
入院収益	2,872,961			
外来収益	1,547,671			
診療収入計	4,420,632			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	289,465			
(うち他会計負担金)	59,041			
(2) 医業外収益	1,692,691			
(うち国・都道府県補助金)	523,349			
(うち他会計補助・負担金)	816,766			
(うち長期前受金戻入)	324,442			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,773			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,362,434			
2 経常費用	6,329,172			
(1) 医業費用	5,977,131			
職員給与費	2,862,882	60.8	60.2	60.7
材料費	1,212,716	25.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	585,792	12.4	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	623,600	13.2	11.6	11.7
減価償却費	545,005	11.6	9.0	9.2
経費	1,304,732	27.7	22.5	21.2
(うち委託料)	556,730	11.8	12.5	11.9
研究研修費	13,414			
資産減耗費	38,382			
(2) 医業外費用	352,041			
(うち支払利息)	85,766	1.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	33,262			
損益	73,616			
純損益	57,127			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		105.6	106.9
医業収支比率	78.8		85.1	85.8
修正医業収支比率	77.8		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	13.6		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	87.3		93.6	96.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	840,911	875,807
資本勘定繰入	376,858	419,514
計	1,217,769	1,295,321

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		富江病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,092 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	55	95.9	97.3	95.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	95.9	97.3	95.1
平均在院日数(一般病床のみ)		32.7	34.3	32.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	917,330				
1 経常収益	916,456				
(1) 医業収益	719,398				
(うち修正医業収益)	701,545				
入院収益	513,167				
外来収益	138,759				
診療収入計	651,926				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	67,472				
(うち他会計負担金)	17,853				
(2) 医業外収益	197,058				
(うち国・都道府県補助金)	30,259				
(うち他会計補助・負担金)	126,666				
(うち長期前受金戻入)	31,356				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	874				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	744,075				
2 経常費用	737,809				
(1) 医業費用	717,811				
職員給与費	459,088	63.8	60.2	76.8	
材料費	95,874	13.3	25.3	14.4	
(うち薬品費)	36,137	5.0	13.3	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,877	6.5	11.6	6.0	
減価償却費	59,631	8.3	9.0	11.4	
経費	100,784	14.0	22.5	31.5	
(うち委託料)	35,552	4.9	12.5	14.5	
研究研修費	1,020				
資産減耗費	1,414				
(2) 医業外費用	19,998				
(うち支払利息)	81	-	1.2	1.4	
(3) 特別損失	6,266				
損益	178,647				
純損益	173,255				
累積欠損金	-				
経常収支比率	124.2		105.6	103.4	
医業収支比率	100.2		85.1	74.3	
修正医業収支比率	97.7		82.2	70.1	
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		11.3	23.0	
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.9	34.1	
他会計繰入金対総収益比率	15.8		11.2	22.9	
実質収益対経常費用比率	104.6		93.6	79.7	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	135,125	144,519
資本勘定繰入	14,400	14,400
計	149,525	158,919

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		上五島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	132	76.7	76.8	81.5
療養	50	82.5	79.9	80.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	76.6	76.0	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.6	17.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,048,029			
1 経常収益	5,018,328			
(1) 医業収益	4,121,648			
(うち修正医業収益)	4,066,391			
入院収益	2,162,284			
外来収益	1,586,420			
診療収入計	3,748,704			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	372,944			
(うち他会計負担金)	55,257			
(2) 医業外収益	896,680			
(うち国・都道府県補助金)	284,707			
(うち他会計補助・負担金)	420,726			
(うち長期前受金戻入)	112,174			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,701			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,782,895			
2 経常費用	4,769,009			
(1) 医業費用	4,551,381			
職員給与費	2,651,769	64.3	60.2	66.7
材料費	873,178	21.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	372,553	9.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	460,115	11.2	11.6	9.2
減価償却費	353,227	8.6	9.0	10.4
経費	631,540	15.3	22.5	28.7
(うち委託料)	159,981	3.9	12.5	13.3
研究研修費	24,256			
資産減耗費	17,411			
(2) 医業外費用	217,628			
(うち支払利息)	1,093	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	13,886			
損益	249,319			
純損益	265,134			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.2		105.6	105.7
医業収支比率	90.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	89.3		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	95.2		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	437,657	475,983
資本勘定繰入	51,798	58,277
計	489,455	534,260

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	上対馬病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	14	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	58.3	53.7	58.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	58.3	53.7	58.3
平均在院日数(一般病床のみ)		22.2	20.7	20.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,016,383			
1 経常収益	1,015,922			
(1) 医業収益	737,715			
(うち修正医業収益)	713,507			
入院収益	357,886			
外来収益	264,724			
診療収入計	622,610			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	115,105			
(うち他会計負担金)	24,208			
(2) 医業外収益	278,207			
(うち国・都道府県補助金)	25,499			
(うち他会計補助・負担金)	182,157			
(うち長期前受金戻入)	50,148			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	461			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,004,692			
2 経常費用	1,003,878			
(1) 医業費用	958,345			
職員給与費	594,891	80.6	60.2	76.8
材料費	108,784	14.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	46,481	6.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,913	7.2	11.6	6.0
減価償却費	81,289	11.0	9.0	11.4
経費	169,822	23.0	22.5	31.5
(うち委託料)	47,409	6.4	12.5	14.5
研究研修費	1,634			
資産減耗費	1,925			
(2) 医業外費用	45,533			
(うち支払利息)	3,356	0.5	1.2	1.4
(3) 特別損失	814			
損益	12,044			
純損益	11,691			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		105.6	103.4
医業収支比率	77.0		85.1	74.3
修正医業収支比率	74.5		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	20.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	20.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	80.6		93.6	79.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,971	206,365
資本勘定繰入	31,871	31,871
計	232,842	238,236

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	精神医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,161 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	臨感
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	79.2	79.7	72.9
感染症	-	-	-	-
計	139	79.2	79.7	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,988,029			
1 経常収益	1,987,318			
(1) 医業収益	1,462,443			
(うち修正医業収益)	1,412,340			
入院収益	1,166,287			
外来収益	196,128			
診療収入計	1,362,415			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	100,028			
(うち他会計負担金)	50,103			
(2) 医業外収益	524,875			
(うち国・都道府県補助金)	89,542			
(うち他会計補助・負担金)	369,472			
(うち長期前受金戻入)	57,902			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	711			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,935,799			
2 経常費用	1,928,637			
(1) 医業費用	1,863,028			
職員給与費	1,307,535	89.4	60.2	106.2
材料費	148,658	10.2	25.3	8.8
(うち薬品費)	120,000	8.2	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,766	1.9	11.6	1.4
減価償却費	111,601	7.6	9.0	14.3
経費	289,798	19.8	22.5	34.9
(うち委託料)	146,127	10.0	12.5	19.5
研究研修費	3,790			
資産減耗費	1,646			
(2) 医業外費用	65,609			
(うち支払利息)	1,769	0.1	1.2	2.4
(3) 特別損失	7,162			
損益	58,681			
純損益	52,230			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.0		105.6	102.7
医業収支比率	78.5		85.1	60.7
修正医業収支比率	75.8		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	28.7		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	21.1		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	81.3		93.6	70.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	408,002	419,575
資本勘定繰入	15,808	15,808
計	423,810	435,383

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和3年度)</b>		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	島原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	21,842 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救急が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	250	68.0	71.3	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	66.9	70.2	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	14.3	15.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,478,289			
1 経常収益	6,449,073			
(1) 医業収益	4,974,258			
(うち修正医業収益)	4,860,272			
入院収益	3,498,029			
外来収益	1,278,847			
診療収入計	4,776,876			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	197,382			
(うち他会計負担金)	113,986			
(2) 医業外収益	1,474,815			
(うち国・都道府県補助金)	849,883			
(うち他会計補助・負担金)	326,293			
(うち長期前受金戻入)	283,958			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,216			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,970,934			
2 経常費用	5,962,212			
(1) 医業費用	5,566,264			
職員給与費	2,926,886	58.8	60.2	64.0
材料費	1,181,723	23.8	25.3	19.9
(うち薬品費)	713,234	14.3	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	467,816	9.4	11.6	9.6
減価償却費	388,053	7.8	9.0	9.9
経費	1,014,799	20.4	22.5	28.4
(うち委託料)	524,726	10.5	12.5	13.7
研究研修費	10,525			
資産減耗費	44,278			
(2) 医業外費用	395,948			
(うち支払利息)	76,801	1.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	8,722			
損益	486,861			
純損益	507,355			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.2		105.6	104.2
医業収支比率	89.4		85.1	81.4
修正医業収支比率	87.3		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	100.8		93.6	91.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	409,546	440,279
資本勘定繰入	373,908	447,373
計	783,454	887,652

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		吉岐病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,290 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	120	79.3	85.7	97.1
療養	48	86.9	87.6	91.6
結核	6	5.5	6.6	7.5
精神	50	-	-	-
感染症	4	37.6	23.8	-
計	228	60.8	64.1	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	23.0	17.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,978,399			
1 経常収益	3,921,190			
(1) 医業収益	2,986,198			
(うち修正医業収益)	2,914,515			
入院収益	1,776,814			
外来収益	919,748			
診療収入計	2,696,562			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	289,636			
(うち他会計負担金)	71,683			
(2) 医業外収益	934,992			
(うち国・都道府県補助金)	407,696			
(うち他会計補助・負担金)	420,076			
(うち長期前受金戻入)	91,248			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	57,209			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,638,620			
2 経常費用	3,613,342			
(1) 医業費用	3,442,466			
職員給与費	1,751,092	58.6	60.2	64.0
材料費	674,299	22.6	25.3	19.9
(うち薬品費)	282,778	9.5	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	358,066	12.0	11.6	9.6
減価償却費	183,519	6.1	9.0	9.9
経費	819,132	27.4	22.5	28.4
(うち委託料)	304,164	10.2	12.5	13.7
研究研修費	9,158			
資産減耗費	5,266			
(2) 医業外費用	170,876			
(うち支払利息)	45,141	1.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	25,278			
損益	307,848			
純損益	339,779			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.5		105.6	104.2
医業収支比率	86.7		85.1	81.4
修正医業収支比率	84.7		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	16.5		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	12.4		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	94.9		93.6	91.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	462,248	491,759
資本勘定繰入	100,304	142,163
計	562,552	633,922

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		対馬病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,812 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	222	72.4	77.8	80.1
療養	-	-	-	-
結核	4	14.3	3.5	8.2
精神	45	70.5	69.8	81.2
感染症	4	21.2	11.0	-
計	275	70.5	74.4	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	17.4	16.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,187,735			
1 経常収益	6,158,043			
(1) 医業収益	4,840,880			
(うち修正医業収益)	4,743,186			
入院収益	2,826,027			
外来収益	1,494,842			
診療収入計	4,320,869			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	520,011			
(うち他会計負担金)	97,694			
(2) 医業外収益	1,317,163			
(うち国・都道府県補助金)	405,851			
(うち他会計補助・負担金)	637,544			
(うち長期前受金戻入)	219,415			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,692			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,153,050			
2 経常費用	6,126,855			
(1) 医業費用	5,802,198			
職員給与費	3,233,550	66.8	60.2	64.0
材料費	1,028,352	21.2	25.3	19.9
(うち薬品費)	392,051	8.1	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	590,511	12.2	11.6	9.6
減価償却費	586,858	12.1	9.0	9.9
経費	902,509	18.6	22.5	28.4
(うち委託料)	391,873	8.1	12.5	13.7
研究研修費	9,656			
資産減耗費	41,273			
(2) 医業外費用	324,657			
(うち支払利息)	39,804	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	26,195			
損益	31,888			
純損益	34,685			
累積欠損金	1,231,519			
経常収支比率	100.5		105.6	104.2
医業収支比率	83.4		85.1	81.4
修正医業収支比率	81.7		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	11.9		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	88.5		93.6	91.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	61,432,209
1 固定資産	40,284,579
(1) 有形固定資産	33,130,481
(2) 無形固定資産	510,645
(3) 投資その他の資産	6,643,453
2 流動資産	21,147,630
(1) 現金及び預金	16,001,512
(2) 未収金及び未収収益	4,921,038
(3) 貸倒引当金( )	92,623
(4) 貯蔵品	313,189
3 繰延資産	-
負債合計	36,641,287
1 固定負債	21,534,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,628,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	161,425
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,694,790
(7) 一ス債務	2,118
2 流動負債	6,667,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,187,771
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	38,096
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	932,902
(6) リ一ス債務	1,396
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,112,119
(9) 前受金及び前受収益	4,109
3 繰延収益	8,439,636
(1) 長期前受金	12,134,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,695,189
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,790,922
1 資本金	9,875,721
2 剰余金	14,915,201
(1) 資本金剰余金	5,407,244
(2) 利益剰余金	9,507,957
負債・資本合計	61,432,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	702,994	735,238
資本勘定繰入	118,176	163,191
計	821,170	898,429

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。